

No. 16

2011年12月

第33期 事業報告書

平成22年10月1日 ▶ 平成23年9月30日



Special Teaching and Education by Professionals

株式会社 **STEP** 株主通信

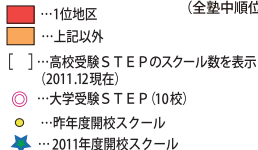
“子どもたちを元気にする塾”



CONTENTS／目次

STEPスクール地図	1
今年のTOPICS	2
What's STEP	4
STEP by STEP	5
業績の推移	6
損益計算書の要旨	7
貸借対照表の要旨	9
株主資本等変動計算書の要旨	10
株式の状況	11
第34期業績予想	12
会社の概要・株主メモ	13

Hi-STEP 湖南スクール
 Hi-STEP 鎌倉スクール
 Hi-STEP 大和スクール
 Hi-STEP 2(保川)スクール
 Hi-STEP 茅ヶ崎スクール
 Hi-STEP 海老名スクール
 Hi-STEP 横浜南スクール
 Hi-STEP 青葉台スクール
 Hi-STEP 小田原スクール
 Hi-STEP 茅野スクール
 Hi-STEP 中央林間スクール
 Hi-STEP 相模原スクール
 Hi-STEP 戸塚スクール
 Hi-STEP 横浜スクール
 Hi-STEP 大船スクール
 Hi-STEP 金沢文庫スクール
 Hi-STEP 相模大野スクール
 Hi-STEP 厚木スクール



ステップ

平成23年9月27日

東証二部に 上場しました

ステップは平成23年9月27日、東京証券取引所市場第二部へ上場の運びとなりました。今後も、一人ひとりの生徒と向き合い、これまで以上に教師一人ひとりの授業力アップに力を注ぎ、ステップ全体の教務力、スクール運営力のレベルアップをはかります。



＊平成23年9月27日 東証二部の上場式典にて

独自入試実施校11校

中学部

湘南・横浜翠嵐など946名合格で全塾中No.1! 東京学芸大附属高校に46名(うち外進生43名)合格!

高校入試合格実績、さらに躍進!

東京学芸大附属高校に46名合格(うち外進生43名)

ステップ生の通学圏内で最難関のひとつ、国立東京学芸大学附属(外進生の部)の合格実績で、3年連続して全塾中No.1となりました。2011年度入試では、外部進学生用の一般枠102名のうち、43名が合格しています。

2011年度
東京学芸大附属高校
合格者翠嵐



神奈川県公立トップ高校1,645名合格!

神奈川県の公立トップ高校に1,645名が合格。これは、ステップから県内公立高校に合格した生徒の42.6%に相当します。初めて全塾中No.1となった横浜臨海地区のトップ高校・横浜緑ヶ丘をはじめ、名門・厚木や横浜の伝統校・希望ヶ丘など12校で塾別合格者数No.1です。

独自入試実施校11校946名合格で全塾中No.1

2011年度入試では、県内11校が自校作成問題による独自入試を実施しました。ステップからは946名が合格し、塾別合格者数トップを続けています。そのうち県内最難関湘南には211名が合格し、募集人員の約60%をステップ生が占める圧倒的No.1です。

「神奈川県公立トップ作戦」進行中!

1986年に湘南で合格者数トップ(53名合格)として以来、神奈川県各学区のトップ校合格者数No.1を目指す「トップ作戦」を進めてきました。湘南では26年間、No.1を継続中。1990年に大和、93年に茅ヶ崎北陵、97年に希望ヶ丘、2000年に秦野、01年に平塚江南、02年に小田原で全塾中No.1とし、激戦を続けてきた厚木で02年に初の単独トップ、相模原も03年にと、相次いでトップを奪取し、以降、追従を許さず全塾中No.1を継続しています。また横浜のトップ高校、柏陽や横浜緑ヶ丘などでも、次々に全塾中No.1としてきました。09年春に初めて3スクールを開校した横須賀地区では、トップ高校の横須賀に33名が合格。着実に合格者を増やしています。

スクールの開校・移転

中学部
高校部

中学部・高校部で新校舎建設！

授業ビデオ配信「e-STEP」のコンテンツが充実！

新スクール開校、新校舎建設！

中学部 5スクールを開校！

高校部 厚木校・相模原校の新校舎に移転開校！

2011年度は、中学部は本郷台、茅ヶ崎小和田、古淵、ハイステップ厚木、ハイステップ相模大野の5スクールを開校しました。また高校部では、厚木校と相模原校の2校が、新校舎を建設して移転開校しました。いずれも広いラウンジや自習室を完備するなど、快適な学習環境作りを進めています。



大学受験ステップ
厚木校



授業ビデオ配信「e-STEP」を拡充

中学部・高校部ともにコンテンツが充実

授業映像を社内ネットワーク、及びインターネットを使って塾生対象に配信するシステムを構築。予習や復習、あるいは授業を欠席したときなど、いつでも自宅でその単元を学習できます。中学部・高校部ともにコンテンツを

拡充しており、その数は、中学部で500以上、高校部で1600以上、一通り基本形を完成しています。ステップ主催で行った高校ガイダンスなど、イベントの様子も配信しています。

「STEPパス」システムを活用

中学部：入退室をメールでお知らせ

生徒の入退室をメールでご家庭にお知らせするシステム「STEPパス」を中学部全スクールに設置。通塾の行き帰りを心配されていた保護者の方から大変好評です。また、お知らせ等や、災害時には臨時メールを一齐にご家庭に送ることもできます。

高校部：生徒とのメールによる連絡網を構築

高校部では各校舎で、STEPパスシステムを活用した生徒へのメール連絡網を設置し、より密なフォロー体制を構築しています。

高校部：10校舎体制でさらに充実

10校体制で現役合格を応援する高校部は、受験形態の多様化に対応したシステム作り、環境作りを進めています。

●ブルキナファソへ～「栄養失調児センター」への資金援助～●

ステップでは教師・スタッフをはじめ生徒たちの協力も得て、ボランティア活動に取り組んでいます。その一つがアフリカ・ブルキナファソの「栄養失調児センター」運営維持費の資金援助です。ステップでは1997年から、この活動を続けてまいりました。

ブルキナファソとはアフリカ内陸にある世界で最も貧しい国の一つで、近年はまったく雨の降らない年が続き、深刻な飢餓がー帯をおそっています。「栄養失調児センター」では、経済事情により病院や健康センターなどの有料施設に行くことのできない人々を受け入れ、無料で治療を行いつつ、食料の自給自足を目指し、母子たちとともに耕作などの共同作業を行っています。

「ブルキナファソ栄養失調児センター」のホームページ <<http://www.cren.jp/>>

1 高校受験ステップ (中学部)

1.専任教師制が主軸 充実した教師研修システム

非常勤講師を相当数採用している学習塾が多い中で、ステップは質の高い教師養成のために専任教師主軸という基調を貫いています。生徒をサポートするには質の高い授業が決め手だと考え、研修に力を入れ、教師同士で繰り返す模擬授業を中心に、技術と学力を磨き合い、高技術をもった専門職として育てています。例えば英語では、ネイティブのコーチのもと、リスニング、会話などのレベル別研修が行われており、教師の実力向上を目指しています。

2.コミュニケーションを大切に生徒指導 1クラス定員 小学生16名 中学生20名

生徒全員の顔と名前が分かるように、1クラスの定員は小学生16名、中学生20名に。毎日生徒たちが「今日も来て良かった」と思えるように、授業内容、教材などの工夫を繰り返しています。質の高い授業こそ、子どもの減少や競争に負けない最強の戦略。生徒や保護者の信頼を財産とし、神奈川県全域への密度の濃い展開を進めています。

高校受験ステップ
研修の様子



2 大学受験ステップ (高校部)

生徒参加型の少人数制の授業

大学受験ステップは、大手予備校タイプの大人数教室で教師が壇上に立って一方的に話す形の授業ではなく、双方向のコミュニケーションを大事にしています。高校部は「生徒参加型の少人数制の授業」がモットーです。

難関大学合格をめざすスーパークラス・チャレンジクラスの他、ハイレベルクラスやスタンダードクラス、さらには高校対応のクラスや個別指導など、多様なクラス編成で現役高校生の希望に応じています。高校対応のクラスは数学などで各高校のカリキュラムに対応した授業を行います。ロスの少ない合理的なシステムで現役合格をバックアップします。

大学受験ステップ
相模原校



3 本部—各スクール校舎を繋ぐ

ノーツ・ネットワーク・システムがフル稼働 教師1人にパソコン1台 ネットワーク完成

ステップの全スクールと本部各部署は、ノーツ・ネットワーク・システムで結ばれています。中学部・高校部とも毎日、各部署からの連絡、スクールや教師からの様々な情報等が、各スクールと本部、各スクール間でスムーズに行き来し、素早い対応が可能になっています。また、各教科のデータベースに、全ての教師がアクセスでき、その教科に関する意見や、質問、討議が可能です。

スピードアップがもっとも顕著なのが、講習時に毎日行う全教科のテスト集計と結果発表。各スクールで入力されたテストの点数がノーツを通してデータ管理室に集められ、本部コンピュータで、順位、偏差値などが出され、スクールに送信されます。そして、出力され、次の日には生徒一人ひとりに渡されます。つまり、毎日、小中学生約17,000人分のテスト結果と、それぞれのステップ内での順位が翌日には生徒個人の手に届くというスピードです。

4 個別指導ステップ (K-STEP)

一人ひとりの希望に合わせた授業

2002年秋に個別指導専門スクールを藤沢に開校。さらに高校部各校舎にも個別指導専門のK-STEPを設置。マンツーマンでの授業を基本とし、特定教科の集中学習を希望する人、私立高校に通う人等々、生徒一人ひとりの異なった希望に対応したカリキュラムで授業を進めています。さらに中学生対象のマンツーマンの講座も設置しています。

学習塾のサービス格付けで、 ステップが総合評価で最高ランク

社団法人
全国学習塾協会認定 AAA

＊サービス評価とは、学習塾に関する情報が開示され、情報が分かりやすく説明され、適正な広告宣伝・勧誘方法が行われ、契約関係が適切に締結され、情報保護も心配のない学習塾としての評価です。

ワクワク理科実験教室

湘南海岸に理科実験合宿施設 “湘南シーサイド・ラボ”

子どもたちが理科実験を通して自然の不思議に興味を持ち、科学の楽しさを実感してくれたらと湘南シーサイド・ラボを設置。充実した理科実験室を備えた生徒と教師のための宿泊できる研究・研修所として、96年春に開設しました。

理科実験室では、「ワクワク理科実験教室」や「ワクワク理科実験合宿」を開いています。2011年度は、7回の理科実験教室、理科実験合宿を実施。そのうち6月、8月、10月に計3回の親子理科実験教室を開催し、親子そろって理科のおもしろさに触れる試みを行っています。



理科実験合宿施設
湘南シーサイド・ラボ



ワクワク天体観測

厚木西スクールに設置された天体望遠鏡は、コンピュータ・フル制御の最新鋭システムです。宇宙の不思議に興味シンシンの生徒たちが、土星の輪や火星、星雲などを観望しています。親子での参加も歓迎しています。



高校別入試ガイダンス

合格への道筋を鮮明にするために、ステップが総力をあげて開催する「高校別入試ガイダンス」。各高校に焦点を絞って入試結果を徹底解析し、前期選抜、後期選抜第1次選考、後期選抜第2次選考合格への合理的作戦などを紹介します。私立ガイダンスも実施しています。



ステップ主催 オープンキャンパス

生徒・保護者対象に、ステップ主催で当該の私立高校で開催しています。日大藤沢高校、東海大相模高校などで実施してきました。高校の先生にご説明していただき、さらにステップの教師が詳しい情報をお伝えします。

日大藤沢高校での
オープンキャンパスの様子

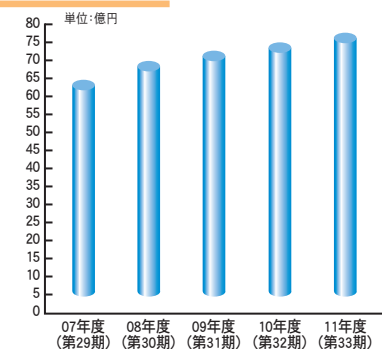


ステップ・ミュージック・フェスティバル(SMF)

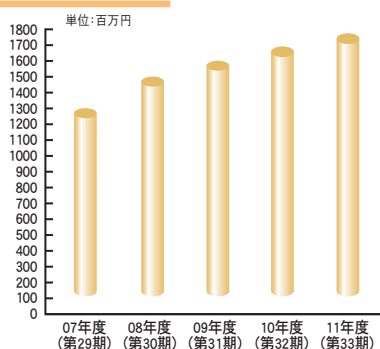
3月、音楽が大好きな教師による卒業コンサートを開催しています。ロックバンドやギターの弾き語り、ピアノ演奏など、毎年、熱気あるステージとなります。



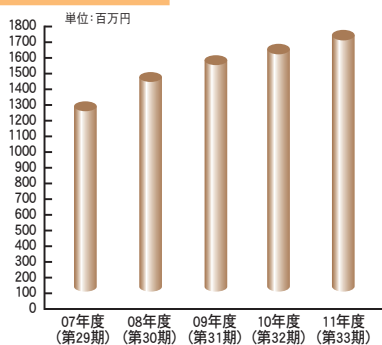
売上高



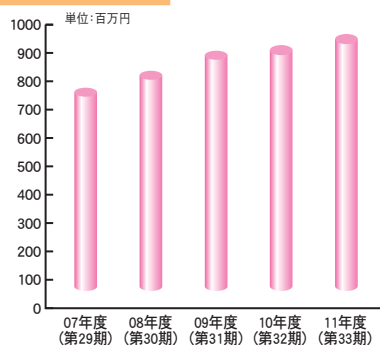
営業利益



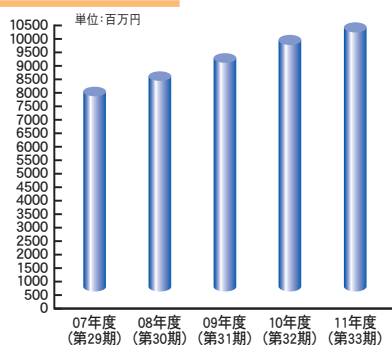
経常利益



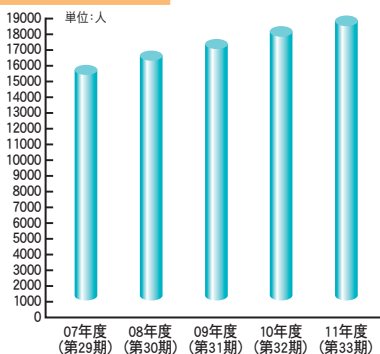
当期純利益



純資産



生徒数



生徒数は、期中平均の在籍生徒数です。

当期業績の概要

当社は、神奈川県を地盤とする学習塾です。現在、111スクールのすべてを県内にドミナント展開し、小学校5年生から高校3年生まで、地域の生徒たちの健全な成長を学習面でサポートしています。社内には高校受験を目指す小中学生部門（小5～中3生）と大学受験を目指す現役高校生部門（高1～高3生）があります。

学習塾としての当社の特徴として自負している点は、日々改善をめざした努力を継続している授業の質と進学面での実績です。特に高校入試の実績では、今年の春、高校受験に臨んだ当社生徒のうち1,645名が県内の公立トップ高校に合格しました。これはこれまで最多の人数であるとともに、県内公立高校に合格した当社生徒の42.6%に相当します。さらに、昨年18校に拡大された「学力向上進学重点校」ですが、公立高校の中でも入試勝負の色彩が濃いこれらトップレベル校のうち半数以上の11校において、塾別の合格者数で当社がトップとなっています。

現役高校生部門についても、大学進学実績は着実に向上しています。国公立、早慶上智への合格者数は過去最高の253名となりました。ステップでは部活に励む、学校行事に打ち込む等、現役生ならではの一人一人の多彩な高校生活との両立を応援する方向で学習指導を行う体制を目指してきましたが、今後も現在進行している受験形態の多様化に対応するシステム作り、環境作りを更に進めてまいります。そして中学生部門を有した学習塾としての強みを活かしながら、現役高校生部門の強化を図っていきたくと考えています。

当社に在籍する生徒が授業を欠席したときや自宅での復習が必要ときに、インターネットを通して重要単元を自宅でいつでも自由に受講できる授業配信システム(e-STEP)は、スタート以来順調にコンテンツを増やしてきましたが、小中学生、現役高校生の両部門において、ほぼ一通りの基本形を作り上げることができました。今後はさらに改善を重ね、自宅学習の有力なツールとして磨きをかけていく予定です。

東日本大震災に際しては、平成23年3月11日当日中に全スクール、校舎、その他施設の被害状況を掌握し、周辺の環境を調査して、生徒の通塾、教職員の通勤および授業実施の安全性を確認した上で、数日後には平常の時間割での運営に復帰しました。計画停電に当たっては、時間割の部分的な振替を行うことで対応し、ほぼ通常通りの授業とサポートを安定的、継続的に提供することができました。

なお、平成23年9月27日、当社は東京証券取引所市場第二部へ上場の運びとなりました。関係各位のご理解、ご支援に厚く感謝申し上げます。今後も、「日々指導技術の研鑽を怠らず、一人一人の生徒と向き合い、学力向上に真摯に取り組んでいく」という設立以来の基本方針を堅持し、これまで以上に教師一人一人の授業力アップに力を注ぎ、教師層の厚みを増し、組織力の向上に努め、当社全体の教務力、スクール運営力のレベルアップを図ります。

当期の新規展開については、当社のドミナントエリア内に既存スクール網を充実させる形で小中学生部門の新スクールを5校開校しました。その結果、スクール数は現状、小中学生部門が100スクール、現役高校生部門は10校、個別指導部門1校の計111校となっています。

平成23年3月上旬まで順調に推移していた生徒人数ですが、東日本大震災後のおよそ2週間に渡って新規入会の動きにブレーキがかかりました。その後はほぼ例年並みの増加ペースに戻ったものの当期中に大震災の影響を挽回するには至らず、塾生総数で見た当期中の平均は前年比3.9%増となりました。

以上の結果、当期の売上高は7,668百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は1,763百万円（前年同期比5.8%増）、経常利益は1,750百万円（前年同期比4.9%増）、当期純利益は959百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

損益計算書（単位：百万円）

*百万円未満切捨

科 目	前期	当期	増減
売上高	7,378	7,668	289
売上原価	5,117	5,310	193
売上総利益	2,261	2,357	95
販売費及び一般管理費	593	593	△0
営業利益	1,667	1,763	96
営業外収益	98	89	△8
受取利息	0	0	△0
受取家賃	72	77	5
その他	24	10	△13
営業外費用	97	102	5
支払利息	36	36	△0
賃貸費用	52	64	12
その他	7	1	△6
経常利益	1,668	1,750	82
特別損失	100	106	5
固定資産除却損	9	24	14
減損損失	91	0	△90
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	82	82
税引前当期純利益	1,567	1,643	76
法人税、住民税及び事業税	663	719	56
法人税等調整額	△7	△34	△26
当期純利益	912	959	46

部門別売上高

事業部門別の売上高は、次のとおりです。

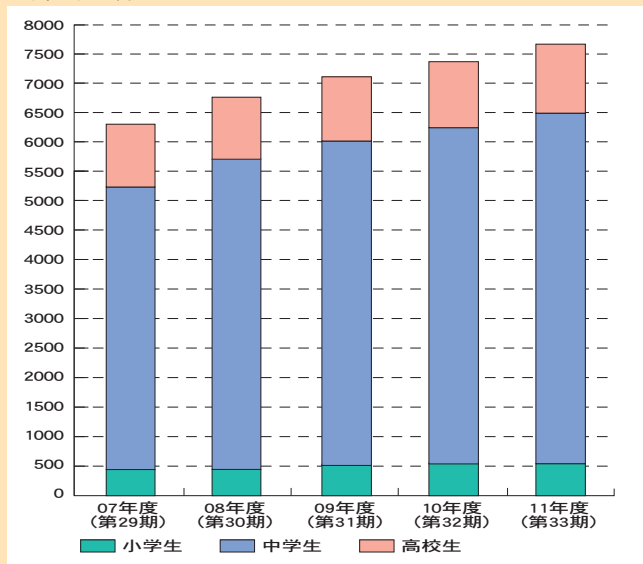
小中学生部門

小中学生部門は生徒数が期中平均で4.0%の増加等により、6,486百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

現役高校生部門

現役高校生部門は生徒数が期中平均で3.4%の増加等により、1,182百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

単位：百万円



部門別売上高明細表

(単位：百万円)

区 分 \ 期 別		前 期		当 期		比較増減
		売 上 高	構成比 (%)	売 上 高	構成比 (%)	金 額
小中学生部門	小 学 生	519	7.0	542	7.1	22
	中 学 生	5,714	77.4	5,943	77.5	229
	小 計	6,233	84.5	6,486	84.6	252
現役高校生部門		1,145	15.5	1,182	15.4	36
合 計		7,378	100.0	7,668	100.0	289

貸借対照表(単位:百万円)

*百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	1,741	1,232	△508	流動負債	1,634	1,848	213
現金及び預金	1,433	927	△505	1年内返済予定の長期借入金	883	1,006	123
売掛金	43	43	0	未払金	77	88	11
有価証券	37	34	△3	未払法人税等	360	402	41
たな卸資産	17	19	1	その他	312	349	37
前払費用	97	97	0	固定負債	2,328	2,143	△185
繰延税金資産	99	102	3	長期借入金	2,068	1,758	△310
その他	13	7	△5	その他	259	384	125
貸倒引当金	△1	△1	△0	負債合計	3,962	3,991	28
固定資産	12,173	13,188	1,015	科目	前期	当期	増減
有形固定資産	11,578	12,589	1,011	純資産の部			
建物及び構築物	4,260	5,546	1,285	株主資本	9,962	10,443	480
土地	6,726	6,969	243	資本金	1,329	1,329	—
その他	591	73	△517	資本剰余金	1,402	1,402	—
無形固定資産	27	27	△0	資本準備金	1,402	1,402	—
投資その他の資産	566	571	4	利益剰余金	7,320	7,877	557
投資有価証券	13	12	△0	利益準備金	137	137	—
繰延税金資産	100	132	32	その他利益剰余金	7,183	7,740	557
差入保証金	416	396	△19	別途積立金	97	97	—
その他	36	29	△7	繰越利益剰余金	7,085	7,643	557
資産合計	13,914	14,421	506	自己株式	△88	△165	△77
				評価・換算差額等	△11	△13	△2
				その他有価証券評価差額金	△11	△13	△2
				純資産合計	9,951	10,429	478
				負債・純資産合計	13,914	14,421	506

株主資本等変動計算書(単位:百万円)

*百万円未満切捨

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金	
前期末残高	1,329	1,402	1,402	137	97	7,085	7,320
当期変動額							
剰余金の配当						△401	△401
当期純利益						959	959
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	557	557
当期末残高	1,329	1,402	1,402	137	97	7,643	7,877

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
前期末残高	△88	9,962	△11	△11	9,951
当期変動額					
剰余金の配当		△401			△401
当期純利益		959			959
自己株式の取得	△77	△77			△77
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△2	△2	△2
当期変動額合計	△77	480	△2	△2	478
当期末残高	△165	10,443	△13	△13	10,429

株価推移(週足)

資料:大阪証券取引所



株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行済株式の総数 15,320,000株

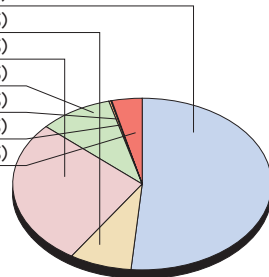
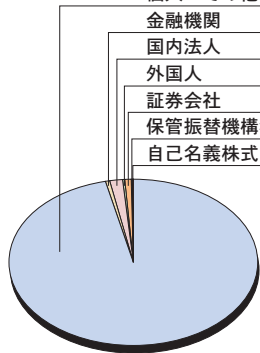
株主数 1,220名

所有者別株式分布

単位:千株

個人・その他	1,177名	(96.48%)
金融機関	7名	(0.57%)
国内法人	20名	(1.64%)
外国人	3名	(0.25%)
証券会社	11名	(0.90%)
保管振替機構名義株式	1名	(0.08%)
自己名義株式	1名	(0.08%)

個人・その他	7,904	(51.59%)
金融機関	1,170	(7.64%)
国内法人	4,229	(27.60%)
外国人	1,386	(9.05%)
証券会社	48	(0.31%)
保管振替機構名義株式	1	(0.01%)
自己名義株式	582	(3.80%)



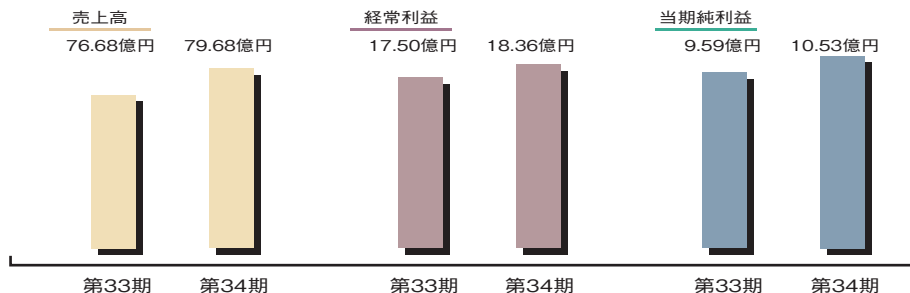
来期の見通し

神奈川県の出立高校の現入試制度を見直す「入学者選抜制度検討協議会」の結論が出され、再来年の春の県立高校入試(現中2生の受験)から導入される新制度が公表されました。予想通り従来は前期、後期に分かれていた入試が一体化され、受験生全員が学力検査と面接を受けることになります。学力検査・面接・内申の3要素の比重の選択幅が広がるなど運用レベルでの対応次第でその影響が大きく異なってくる内容となっており、未だ小中学生部門の今後の展開への影響は明確には予想しがたい状況ですので、今後も、迅速、正確な情報収集に努めます。

当社が注力している現役高校生部門は、今春の大学入試結果において過去最高の合格実績を残すことができました。少子化と大学定員の拡大を主たる要因として、大学入試における競争の緩和による環境変化が進行中ですが、小中学生部門同様に、今後とも授業内容の高品質化と進学指導力の向上に努め、学校生活の充実と大学受験への実力養成という現役高校生ならではの二つの大きなニーズへのバランスのとれた対応に努めます。

なお、来春の新スクールの開校は、当社のドミナントエリアおよびその近隣地域を中心に小中学生部門で3~4スクール、現役高校生部門で1校を予定しています。

通期の業績は、売上高7,968百万円(前年同期比3.9%増)、経常利益1,836百万円(前年同期比4.9%増)、当期純利益1,053百万円(前年同期比9.8%増)を見込んでいます。



業績予想数値は、平成23年11月4日に東京証券取引所市場第二部及び大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)へ提出した決算短信に記載したものです。

当社の経営の基本方針

当社は学習塾を広い意味で「生徒サポート産業」と考え、「子どもたちを元気にする塾」をコンセプトに「楽しくて、かつ力がつく」授業をモットーとしてきました。生徒たちの健全な成長を学習面で応援し、生徒たちの学力向上を通して社会に貢献することが設立以来の基本理念です。

これを実現するため、以下の5項目を経営の基本方針としています。

- ① 学習塾専門に徹し、経営資源を専門分野に集中的に投下する。
- ② スクールは、神奈川県内に集中して展開する。
- ③ 学習サービス内容の高品質化を不断に追求する。
- ④ 県内公立トップ高校への進学実績No.1を堅持し、さらに難関国私立高校への合格実績を一層向上させる。
- ⑤ 公立高校生を中心にした地元現役高校生をサポートする大学受験STEPの発展を推進する。

神奈川県では、最近、入試や学区制度の相次ぐ改革、大学進学実績の向上、教育内容の多様化等、公立高校の復権が進んでいます。当社の小中学生部門は、公立高校の基盤が比較的強固な地域を中心にドミナント展開を行ってきたことが強みとなり、この公立高校の復権を追い風としています。この傾向は今しばらく続きそうです。

現役高校生部門は、大学入試の実質的な全入化に近い状況の中で、学校生活の充実と大学受験への対応力養成という現役高校生ならではの二つの大きなニーズへのバランスのとれた対応が課題です。一人ひとりの多彩な高校生活の状況を丁寧に把握した上で学習指導を行う体制の構築、受験形態の多様化に対応したシステム作り、環境作り等に全力でチャレンジしているところです。今後とも小中学生部門と並ぶ経営の柱として、現役高校生部門の発展をはかります。

商 号 株式会社ステップ
証券コード 9795
本 部 〒251-0052 藤沢市藤沢602番地
TEL 0466-20-8000(代)
事業内容 ■高校受験STEP
小5から中3までの学習・受験指導
■大学受験STEP
高1から高3までの現役高校生対象の大学受験指導
ス ク ー ル 神奈川県内 111スクール (平成23年10月現在)
教材研究課 藤沢市湘南台2-1-19
印刷配送センター 藤沢市大庭5681-25-2

COMPANY DATA
創 業 昭和50年1月
設 立 昭和54年9月
資 本 金 13億2905万円
代表取締役社長 龍井郷二
社 員 数 752名(正社員552名、その他200名)
営業地域 神奈川県内

株主メモ

決 算 期 9月30日
定 時 株 主 総 会 12月
期末配当金基準日 9月30日
中間配当金基準日 3月31日
1 単元の株式数 100株

公告の方法 当社ホームページに掲載します。
<http://www.stepnet.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
証券代行事務センター(〒168-0063)
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

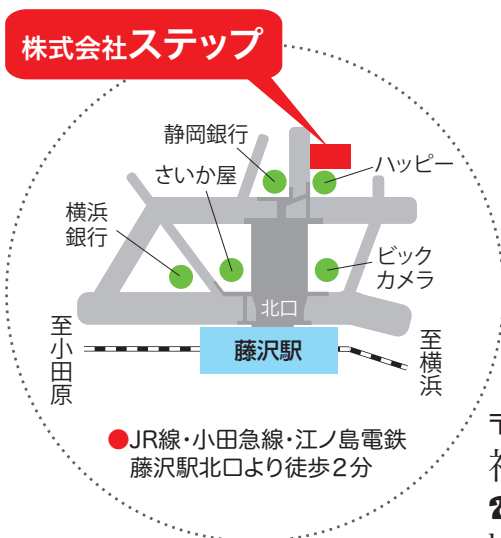
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

(お知らせ)

特別口座に関する住所変更、単元未満株式買取請求、振替申請および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、右記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル
0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株式会社 **STEP** 株主通信



〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢602

☎0466-20-8000(代)

<http://www.stepnet.co.jp/>